

[広報]

さがわ

Public Relations
SAMEGAWA

4
April
2025 No.852
令和7年4月1日発行

さがわ

April
2025

令和7年4月1日発行(毎月1日発行)
第852号(昭和27年9月創刊)

発行/福島県鮫川村 編集/鮫川村役場村づくり推進室
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新館 39番地5

あれから38年――

あの日の教訓を今へ



村のちいさな芸術家たち

－「第18回東北の建物を描く展」受賞作品－

柴田審査員賞



「願い事はなんですか？」

関根 そら

鮫川中学校2年
場所/日吉神社(郡山市)

入選



「光たゆたう
～JR白河駅のステンドグラス～」

関根 はな

鮫川中学校(令和6年度卒業)
場所/JR白河駅(白河市)

表紙をリニューアルしました

題字をお願いしたのは、鮫川和紙職人・齋須寛一さんと交流のある書道家・千葉清藍先生(福島県在住)です。千葉先生は齋須さんと和紙の材料となるコウゾの葉を活用したお茶作りや、コウゾの油葉を使用した陶芸教室、鮫川和紙を使用したワークショップ、村の郷土料理イベントなどを実施しており、そうしたご縁から今回題字を依頼させていただきました。

揮毫にあたり、鮫川の豊かな自然、大地、親しみと優しさに満ち、信念を抱く人々が浮かんだという千葉先生。題字の力を借りながら、今後も皆さんに愛される広報紙づくりを目指してまいります。

さがわ

SNSでも情報配信中

村公式アカウントはコチラ



Facebook



Instagram



Line

編集後記

■地元でありながら詳細を知らなかった38年前の江竜田の大火災。過去の資料からは、携わったたくさんの方々の思いが伝わり胸を打たれました。とても辛い出来事でしたが、二度と繰り返さないために決して忘れてはいけません。取材にご協力いただいた皆さん本当にありがとうございます。■広報として迎える2回目の春です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。(藤田)

あれから38年――

あの日の教訓を今へ

昭和 62 年 4 月 24 日・大規模山林火災発生

記憶に新しい岩手県大船渡市の大規模林野火災。平成以降では国内最大規模の被害となり、およそ 2,900 ヘクタールが焼失しました。

そして、今から 38 年前の昭和 62 年 4 月 24 日。19 時間におよび燃え続けた炎により、大字渡瀬字江竜田付近一帯の 204.8 ヘクタールの山林が一晩にして焼け野原と化しました。

本村では過去に例を見ない大火災となったあの日。この火災を知っている人はどのくらいいるのでしょうか。「忘れない」そして「二度と起こさない」ために、あの日の教訓を今へ。



昭和 62 年 4 月 24 日	
14 : 52	林野火災らしいとの 119 番通報
: 53	: 53 棚倉消防署塙分署出動
: 54	: 54 棚倉消防署鮫川分署、塙町消防団出動
: 56	: 56 村防災無線で火災発生の緊急放送
: 57	: 57 村消防団出動（第 1 次）
15 : 16	全団員招集、役場全職員現地へ
: 40	: 40 現地対策本部設置（江竜田公民館）
: 40	: 40 江竜田集落に避難勧告
: 40	: 40 県に陸上自衛隊の災害派遣を要請
16 : 07	県知事から自衛隊に出動要請
: 30	: 30 県警ヘリコプターが空中偵察
: 42	: 42 衛生処理組合にバキュームカー出動要請
17 : 20	炊き出し準備
: 55	: 55 現地対策本部を渡瀬小学校に移す
18 : 10	陸上自衛隊通信部隊到着
19 : 41	自衛隊第 2 陣到着（以後 3 ～ 6 陣到着）
21 : 05	火災全体は下火に向かう
22 : 05	自衛隊に大戸中集落の火災防御を依頼
: 20	: 20 県警機動隊到着
: 24	: 24 大戸中集落に避難勧告
: 27	: 27 自衛隊 100 名増員を指示
昭和 62 年 4 月 25 日	
1 : 50	江竜田の滝付近に延焼拡大
2 : 56	滝付近は鎮圧、西野沢から塙町一本木延焼中
3 : 46	対策本部で今後の対応を協議
4 : 00	大戸中集落の避難勧告解除
: 05	: 05 西野沢付近鎮圧
: 30	: 30 自衛隊ヘリ到着（中型 4 機、小型 3 機）
5 : 03	中型ヘリ 4 機による空中消火開始
: 15	: 15 塙町の火災鎮火
6 : 31	全団員が大戸中方面の消火に入る
8 : 10	火勢鎮圧を発表（防災無線放送）
9 : 38	鎮火発表（防災無線放送）
10 : 15	村現地対策本部解散



1 人家の裏で燃え上がる山林。日中にもかかわらず周囲は暗闇に包まれた / 2 福島民報新聞の 1 面にも大きく取り上げられた / 3 渡瀬小学校に設置された対策本部。自衛隊の姿も見える / 4 真っ黒に焼けただれた山林が被害の大きさを物語る

空気の乾燥・最大風速 22m/s
最悪の気象条件の中、火災が発生
炎は強風にあおられ一瞬にして緑の山林をのみ込みました。
火の海と化した山林から舞い上がる煙は
たちまち江竜田集落を不気味なほどの暗闇に包み込みました。

不安と恐怖で眠れぬ夜

昭和 62 年 4 月 24 日、通報を受けた白河広域消防本部の各署と村消防団、隣接町消防団からポンプ車など約 130 台が出動。同日 15 時 40 分には、村長が県に陸上自衛隊の災害派遣要請を行いました。

村消防団全員招集などで懸命の消火活動が行われましたが、火の勢いは衰えず、人家への延焼の危険性が高まりました。そのため、江竜田・大戸中集落の 29 世帯、159 人に避難勧告が出され、渡瀬小学校に避難しましたが、不安と恐怖で眠れぬ一夜を過ごしました。

2 千人分を超す炊き出し

村始まって以来の大火災は、消火活動にあたる消防団員、避難した住民などに対する炊き出しも想像を超える膨大な量となりました。

村では、午後 4 時から給食センター職員を緊急動員したほか、村委託の炊飯業者、さらに村内の食堂にも協力を求め、夜

半まで 2 千人分を超すおにぎりを握りました。

また、渡瀬地区の住民も炊き出しに参加。対策本部近くの木之根集落では全戸が台所を提供するなどして協力しました。西山地区からは岩野草婦人消防隊員も駆け付け、次々とおにぎりを握りました。

19 時間ぶりに鎮火

4 月 25 日午前 9 時 38 分、19 時間にもわたり燃え続け、山を焼き尽くした大火は鎮火しました。

関係機関の出動は、村消防団 684 人、隣接する町の消防団 2378 人、陸上自衛隊 1290 人など、2 日間の延べ人員は 6622 人にもおよびました。

また、この火災による焼失面積は、204.8 畝（鮫川村 139.68 畝、塙町 65.12 畝）、損害額は 4 億 3 千万円（鮫川村 1.3 億 1 千万円、塙町 1 億 2 千万円）にものぼりました。しかし、人家への被害、死傷者がなかったことが不幸中の幸いでした。



記憶を 後世に伝える。 地域防災の 要として。

前・鯉川村消防団長

渡邊 浩佳^{ひろよし}さん (64)

昭和 60 年入団。平成 29 年 4 月から団長を務める。平成 30 年に藍綬褒章を受章。令和 7 年 3 月をもって勇退。赤坂東野字蕨ノ草。

仕事中に火災が発生したと電話がありすぐに出勤した渡邊さん。到着後の様子について「山に入りましたが、火は木の幹だけでなく、木の葉を伝って燃え広がっており、はるか頭上で燃え盛る火の手に恐怖を感じずにはいられなかった」と話します。塙町方面から江竜田に到達していた火の勢いはすさまじいもので、手に負える状況ではないと思ったそうです。

しかし、そういった状況の中でも、木を切り倒し放水したり、住宅への延焼を防ぐため住宅の周辺に放水したりするなど懸命の活動を行いました。

避難勧告が出された住民は、家財道具を田んぼへ搬出しており、その手伝いもしました。「とにかく無我夢中で一晩中活動していた」と当時を振り返ります。

はるか頭上で燃え盛る火の手

38 年前の山林火災を知る消防団員はほとんどいません。火災発生当時、入団 2 年目だった渡邊前団長に当時を振り返ってもらいました。

中継放水が基本

「水を確保できる場所が少なく、山あいに住宅が点在するこの村では、中継放水が基本」と話す渡邊さん。この山林火災でも、渡瀬川からの中継放水を行い、江竜田の滝からは、地区の防火水槽へ水の補充を行いました。こうした経験から、渡邊さんが団長になつてからは必ず中継放水を想定した防御訓練を行うようになりました。

想定外の出来事が起こる現場では、とっさの判断がとても重要だそうです。そうした判断は経験を基にした要素も大きく、村消防団では訓練を通して指導し、伝達しています。

地域消防の役割

「まずは火災を起こさないこと。万が一火災が起きてしまった場合、被害を最小限に抑えることが地域防災の要である地域消防団の役割です。地元を知り尽くした私たちだからこそできる後方支援があると思っています」と力強く話してくれました。

芳賀 亨^{とおる}さん (71)
聖^{たかし}さん (36)

亨さん夫妻と長男聖さん夫妻、亨さんの母、孫 2 人の 4 世代 7 人で暮らす。渡瀬字江竜田。



江竜田集落の住民であり、当時役場職員として現場の最前線に対応した芳賀亨さん。そして、息子の聖さんは消防士の道を歩んでいます。

職員・地域住民として

火災発生当時、「空が黒い煙で覆われる様子に恐怖を感じた」と当時を振り返る亨さん。

自宅のある江竜田集落で発生した山林火災に、役場職員として火災発生から関係機関への連絡や消火活動の後方支援、そして地域住民として道案内にも奔走しました。

自宅では周辺まで火の手が迫っていました。「おばあちゃん(貞子さん)が、当時小さかった子どもたちを連れて避難してくれた。感謝している」と話します。

他人事ではない

当時はまだ生まれていなかった息子の聖さん。山火事のニュースがテレビで流れると祖母の貞子さんが、思い出したよ

うに当時の火災を話す様子を覚えていたそうです。

現在、聖さんは白河広域消防本部で消防士として活躍しています。職場には、江竜田の山林火災の航空写真が現在も掲示されているそうです。「航空写真をみると江竜田集落、自宅が見える。他人事ではないと改めて実感させられます」と話します。

防火意識を次の世代へ

時間は必ず経過し過去になります。しかし、あの日の記憶を後世に語り継ぐことで教訓として生き続けます。「一晩の大火で所有する森林を一部失い、一瞬で焼き尽くされてしまう恐ろしさを痛感した。火災を起こさないためにも、この経験を後世に伝えていく事が大切」と亨さんは話します。「ただ、孫はまだ小さくて分からないかな」と優しいまなざしで孫たちを見つめます。息子の聖さんも「子どもたちはまだ小さくて分からないと思うが、大きくなったら防火意識や森林の大切さを伝えていきたい」と話してくれました。



第2分団 前・分団長
白坂忠幸 さん
(赤坂西野字酒垂・44)

春季全国火災予防運動 団・署合同火災防御訓練を実施

令和7年3月2日（日）・大字赤坂西野字酒垂地内

江竜田の火災を教訓に訓練にのぞみました。村は森林がほとんどで、いつ同じような山林火災が起きてもおかしくありません。普段と違う坂道での訓練となり、機械の調整などうまくいかない部分もありました。うまくいかなかったときにどのように対応できるかを経験するための訓練だと思っています。



総務課
緑川正和 課長補佐

迅速な防災活動のために 団員向け防災アプリ「S.A.F.E」を導入

村では令和6年7月に消防団員向けに防災アプリ「S.A.F.E」を導入し、迅速な防災活動に役立てています。このアプリでは、地図上で火災現場や水利を確認できるだけでなく、団員の参集状況や車両運転の可否、到着予定時間などが一覧で把握・共有できます。

限られた団員数の中で、防災活動の要である消防団の活動がより迅速に、より万全な備えになります。



張り詰めた空気の中、訓練にのぞむ棚倉消防署鮫川分署の署員。表情は真剣そのものです。

山林火災の多くは 人為的要因。 一人一人の防火意識が 大切です。

白河地方広域市町村圏消防本部
(前・棚倉消防署鮫川分署長)

太田 和夫 消防司令

白河市出身。令和6年4月1日から1年間、棚倉消防署鮫川分署長を務める。

面積のおよそ7割が森林の鮫川村では、多くの民家が山間部に点在しており、山林火災の危険性が常に隣り合わせです。火災を起こさないために大切なことはなにか、白河地方広域市町村圏消防本部の太田消防司令に伺いました。

火の回りが早い山林火災

「山林火災の発生原因の多くは人為的要因です」と話す太田消防司令。山林火災はひとたび発生すると、消火が困難なことで知られています。特に春先は、空気が乾燥し、風が強い日が多いため、火災が大規模化しやすい危険性があります。また、行楽や山菜採りで山に入ったたり、農作業で枯れ草を燃やしたりするなど、山林火災発生の原因が多く存在します。

「山林火災は火の回りがとても速いです。木の葉をつたい火が燃え移る『樹冠火』は、上空の風であおられ、通常では考えられないスピードで火災が広がります」と太田消防司令。樹木の上で燃え広がる樹冠火による

山林火災は消火活動が難航するといえます。大船渡の林野火災や江竜田の山林火災でも同じ現象が起こりました。

常に身近にある火災発生要因

火災発生の3要素は『可燃物・酸素・熱』と言われます。そしてこの3要素は、日常生活に欠かせないものでもあります。「常に火災発生の要因は身近にあります。他人事と考えず、一人一人が防火意識を持つことがとても大切です」と太田消防司令は話します。

火災は発生させないことが最も重要です。山林火災の発生要因は焚き火を原因としたものが最も多く、「自分は大丈夫だろう」という少しの油断が火災を招きます。

平成13年からは、屋外で廃棄物(ごみ)を燃やす野焼きなどの行為は、法律で原則禁止されています。どんと焼きなどの例外を除き、火入れを行う場合は事前に村農林商工課での申請が必要になります。火災を発生させないためにも、必要な手続き

は必ず行いましょう。

正しい知識を身に付ける

村は、地理的に水の確保が難しい地域が多く、鮫川分署では日々の防火広報に特に力を入れています。「防火意識が高まれば、人為的な発生要因は限りなくゼロになります。火災は起こさないことが一番ですが、自分や家族の身を守るために住宅用火災報知器の設置など正しい知識を身に付けて欲しい」と太田消防司令は話します。

2度と起こさないために

災害・事故などはいつ発生するか分かりません。住民の安心安全を守るために、棚倉消防署鮫川分署では、日々の業務を怠りません。

そうしたいに心えるためにも、私たちは38年前に江竜田の大規模山林火災で学んだ恐ろしさや教訓をこれからも忘れずに持ち続けなければなりません。2度とあの日のような悲劇を起こさないために。

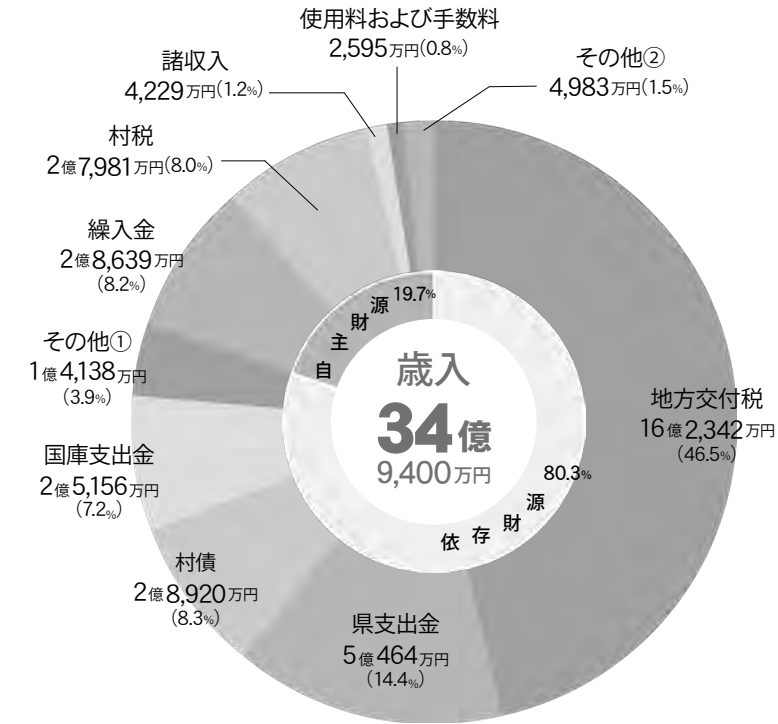
令和7年度 当初予算

令和7年度の村づくりが始まりました。一般会計の当初予算は、6年度に比べ4億4,900万円(14.8%)増の34億9,400万円となりました。

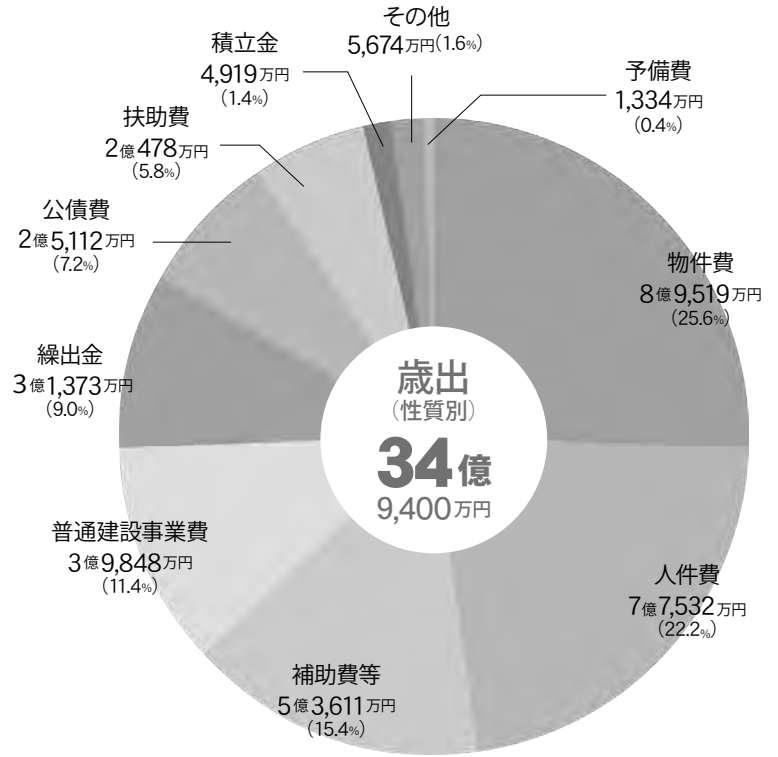
村民1人당に使われるお金は
1,241,208円です。
(前年度比+195,894円)

総務費	225,661円 (37,203円増)
民生費	216,051円 (17,451円増)
農林水産業費	190,982円 (26,538円増)
教育費	185,762円 (80,299円増)
衛生費	117,712円 (17,957円増)
土木費	111,205円 (7,647円増)
公債費	89,209円 (1,739円増)
消防費	60,863円 (8,606円増)
商工費	23,366円 (1,139円減)
その他	20,397円 (407円減)

※一般会計のみ。R7年3月1日現在の住基人口28,151人で計算



9,400万円 前年度比 14.8%増



【用語解説・歳入関連】
■自主財源Ⅱ村税(村民税や固定資産税など)や使用料(保育料や住宅使用料など)、財産収入、寄附金など村が自分の手で確保できるお金
■依存財源Ⅱ地方交付税や国庫支出金、県支出金、地方債など国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられるお金
■地方交付税Ⅱすべての自治体が一定水準で行政サービスを提供できるように国から配分されるお金
普通交付税と特別交付税の2つからなる
■繰入金Ⅱ各種基金から繰り入れるお金
■村債(地方債)Ⅱ道路改良や住宅建設、水道整備などのさまざまな事業を行うために長期間借り入れるお金

【用語解説・歳出関連】
■物件費Ⅱ委託料や消耗品、備品の購入などに使われるお金
■人件費Ⅱ職員や会計

歳入は、「自主財源」と「依存財源」に分けられます。自主財源は、村税をはじめ村が自主的に収入できるお金で、依存財源は国や県から交付されるお金や借金をいいます。自主財源が多いほど、村の運営は安定し、独自性を保つことができます。

今年度の歳入予算のうち自主財源は、使用料及び手数料が前年度に比べ減少したものの、村税や寄附金、基金からの繰入金などにより2,960万円増加しています。

依存財源では、県支出金や地方交付税、村債が増加したことにより、前年度と比べ4億1,940万円増加しています。

一般会計
総額 34億

歳出のうち目的別でみると、対前年比で最も増加したのは、教育費(70.2%増)で公立学校複合施設関連の経費が増加したためです。次に増加したのは、総務費(15.7%増)となっています。

一方、減少したのは商工費(7.9%減)、その他(5.2%減)、公債費(1.4%減)となっています。

…(表1参照)

また、性質別でみると対前年比で最も増加したのは物件費(45.8%増)で、次いで普通建設事業費(32.4%増)、積立金(26.9%増)となりました。

…(表2参照)

年度任用職員の給料や手当、社会保険料、議員や各種委員の報酬などに使われるお金
■普通建設事業費Ⅱ道路や橋りょう、各種施設などの建設事業に使われるお金
■補助費等Ⅱ各種団体への補助金、村が加盟する団体などの負担金に使われるお金
■公債費Ⅱ村債の元利償還金
■繰出金Ⅱ一般会計から特別会計へ繰り出すお金
■扶助費Ⅱ高齢者や障がい者などの支援、子どもや妊産婦の医療費などに使われるお金

■会計別予算の状況

会計別	予算額	対前年度比	伸び率(%)
一般会計	34億9,400万円	4億4,900万円	14.8
特別会計	12億3,401万円	7,513万円	6.5
国民健康保険事業勘定	5億249万円	8,602万円	20.7
国民健康保険直診勘定	5,215万円	△389万円	△7.0
村営バス事業	0万円	△783万円	△100.0
介護保険	5億4,049万円	1,132万円	2.1
学校給食センター	9,874万円	△698万円	△0.7
後期高齢者医療	4,014万円	△351万円	△8.0
公営企業会計			
簡易水道事業			
収益的収入	7,495万円	791万円	11.8
支出	9,521万円	996万円	11.7
資本的収入	3,839万円	0.8万円	0.0
支出	3,939万円	△530万円	△11.9
集落排水事業			
収益的収入	2,995万円	305万円	11.3
支出	3,925万円	272万円	7.4
資本的収入	1,834万円	△158万円	△7.9
支出	1,834万円	△158万円	△7.9

■一般会計の状況

▷目的別歳出予算 [表1]

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
総務費	6億3,524万円	18.1	8,624万円	15.7
民生費	6億818万円	17.4	2,966万円	5.1
農林水産業費	5億3,761万円	15.4	5,858万円	12.2
教育費	5億2,292万円	15.0	2億1,571万円	70.2
土木費	3億1,304万円	9.0	1,138万円	3.8
公債費	2億5,112万円	7.2	△368万円	△1.4
衛生費	2億3,163万円	9.5	4,077万円	14.0
消防費	1億7,133万円	4.9	1,910万円	12.5
商工費	6,577万円	1.9	△561万円	△7.9
その他	5,743万円	1.6	△318万円	△5.2
計	34億9,400万円	100.0	4億4,900万円	14.8

※その他=議会費、労働費、災害復旧費、予備費

▷性質別歳出予算 [表2]

区分	予算額	構成比(%)	対前年度比	伸び率(%)
物件費	8億9,519万円	25.6	2億8,128万円	45.8
人件費	7億7,532万円	22.2	5,264万円	7.3
補助費等	5億3,611万円	15.4	△1,657万円	△3.0
普通建設事業費	3億9,848万円	5.8	949万円	4.9
繰出金	3億1,373万円	9.0	591万円	1.9
公債費	2億5,112万円	7.2	△368万円	△1.4
扶助費	2億478万円	5.8	949万円	4.9
積立金	4,919万円	1.4	1,043万円	26.9
その他	7,008万円	2.0	1,196万円	0.4
計	34億9,400万円	100.0	4億4,900万円	14.8

※その他=維持補修費、災害復旧事業費、貸付金、予備費

お金の使いみち

村は「まめな暮らしが息づく ふれあいの村づくり」の実現のために、5つの将来像（分野別目標）を定めて事業に取り組んでいます。それぞれの主なお金の使いみちは次のとおりです。

01

健やかな人をみんな で育む村づくり



ママカフェ

- 高校生通学支援事業 924万円
- 公立学校等複合施設事業 2億500万円
- 子育て応援祝金事業 160万円
- 公民館事業 208万円
- GIGAスクール用タブレット更新事業 1,172万円

02

地産地消と地域循環 で稼げる村づくり



保育園留学

- 保育園留学事業 495万円
- 担い手農家支援事業 458万円
- 森林整備・再生事業 1億4,515万円
- 特定地域づくり事業 459万円
- ゆうきの郷土づくり事業 325万円

03

いきいき健康で 暮らせる村づくり



筋力づくり教室

- 筋力づくりサロン開催事業 326万円
- 住民健診・がん検診事業 1,327万円
- 子どもの医療費助成事業 768万円
- 障がい者福祉事業 1億1,500万円
- 高齢者生活支援事業 859万円

04

心豊かな生活が 送れる村づくり



秋季検閲

- 光ファイバ網維持事業 1,273万円
- 飲料水確保対策事業 250万円
- 里山景観維持事業 2,400万円
- 道路維持補修事業 1,500万円
- 消防団員活動費 2,099万円

05

確かな行財政運営と 協働の村づくり



住民ワークショップ

- 村債償還金 2億5,112万円
- 村づくり懇談会支援事業 400万円
- 広報発行事業 217万円
- 各種基金積立金 1,416万円
- ふるさと納税事業費 466万円

座して待つのではなく 積極的な村づくりを

関係人口の創出

人口減少や高齢化が進む中、関係人口は、村の魅力の再発見や新たな価値の創出、地域の活性化などに重要な役割を果たします。村は、県内初となる関係人口創出コーディネートターの設置、草刈ボランティアの「美活動刈り上げ鮫（ジョーズ）」や保育園留学など、地域資源を活かした関係人口創出事業を展開してきました。今年度もさらにこの流れを加速していきます。

また、美しい村の環境を守り

繋いでいくため、引き続き景観整備に努めるとともに、植栽などの工夫により、村に住む人・来る人の心に残る、魅せる環境整備を行います。さらに、長年の懸案事項であった鹿角平観光牧場内の村道姿平鹿角平線の改修に着手するとともに、予期せぬ災害など、村民生活に支障を及ぼす事案が発生した際には、早急に対応することとします。

子育て環境の推進

村は、年々子どもの数が減少し、人口減少に拍車をかけています。これまで、村の豊かな自然や「まめで達者な村づくり」などの施策や村民のライフスタイル・歴史・文化を尊重した教育、子育て施策を行ってきました。今後も出産前の妊娠健診、出産祝い金、給食費無償化をはじめとした子どもの年齢や学年に合わせた経済支援を継続するとともに、子育て世代が安心して

地域資源を活かした地場産業の振興

「まめで達者な村づくり」「バイオマスヴィレッジ構想」を軸に、村の基幹産業である農業・林業の振興を進めてきました。これらの循環型農業や里山エコシステムは他自治体にはない本村の強みであり、この動きを加速・発展させるべく、令和7年度には「オーガニックヴィレッジ宣言」を行います。加えて、農業などの第一次産業に従事する人に対して引き続き支援を講じていきます。さらに「手・まめ・館」を中心とした地域循環で稼

て子どもを産み、育てられる施策を推進します。

村立学校等複合施設の整備

令和10年度の村立義務教育学校の開校に向け、令和6年度から動き始めています。令和7年度においては、敷地の造成計画や校舎などの実施設計を進めるとともに、地域教育アドバイザーとして文部科学省初等中等教育局財務課課長補佐の堀家健一さんを招き、教育内容などについても検討を始めます。今年度も、座して待つのではなく積極的に村づくりを進めてまいります。



宗田 雅之 村長

献血にご協力ください

あなたの献血で救える命があります

実施日

4月25日（金）

場所・時間

▼役場前駐車場

① 10時～正午

② 13時30分～16時30分

その他

▼65歳以上の人は60～64歳の間に献血経験がある人に限ります

▼採血に要する時間がおおよそ20分です

■献血対象者など

献血区分	200ミリℓ	400ミリℓ
体 重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上
年 齢	男女とも 16歳～69歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳
献血の間 隔	男女とも 4週間後	男性12週間後 女性16週間後

※基本的に200ミリℓの献血は高校生を対象としています。400ミリℓの献血にご協力ください。

骨髄バンク

ドナー登録も受付中

現在、ドナー登録者は40代～50代が多く、若者のドナーが少ない状況です。

ドナー登録は、約2ミリℓの採血で行うことができます。献血会場では、骨髄バンクのドナー登録も受け付けていますので、この機会に登録にご協力ください。

登録できる人

- ▼18歳～54歳までの健康な人
- ▼骨髄提供内容を十分に理解している人
- ▼体重が男性45キロ㍉、女性40キロ㍉以上の人
- ▼家族の同意が得られる人

骨髄などの提供者には 奨励金を交付します

村は、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞を提供した人に奨励

金を交付します。

対象 次のすべてを満たす人

▼提供した日に村内に住所がある人

▼骨髄・末梢血幹細胞の提供を完了したことを証明する書類の交付を受けた人

▼他の公共団体から奨励金に相当する補助金などの交付を受けていない人

奨励金

提供に係る通院・入院1日につき2万円（最大14万円）

申し込み

提供が完了した日から90日以内に必要な書類を添えて住民福祉課健康係に提出

■住民福祉課健康係

☎49-3112



水田の暗渠排水整備補助金

本村の水田は地下水位が高く、湿田及び半湿田が多いため、水稲や転作作物の作付け条件が悪い状況です。

村では、これらの水田の作付け条件を改善し、水稲及び転作作物の安定生産を図るため、暗渠排水整備に補助金を交付しています。近年、排水管やその他資材の高騰により個人の負担額が増加しているため、補助金額を4月より増

額します。

水田の暗渠排水を計画している人は、事前にご相談ください。

申請方法

暗渠排水工事の**実施前に申請**してください。実施後の申請は受付できません。

補助金額

1㍎あたり1,000円

■農林商工課農林畜産係

☎49-3113

薪の買取価格を改定

豊かな土づくりセンターでは、村の豊富なバイオマス資源を活用し、さぎり荘の薪ボイラーなどに利用するため、村内産の薪の買い取りを実施しています。

近年、燃料や資材の高騰などにより出荷にかかる負担が増加しているため、薪の買取価格を4月より改定します。

出荷を希望する人は、ゆうきの郷土に連絡いただき、各自で搬入をお願いします。

■買取価格（10kgあたり）

種別	買取価格	
	改定前	改定後
ナラ・クヌギ	60円	100円
上記以外の広葉樹	50円	80円
針葉樹	30円	40円
規格外	20円	20円

■ゆうきの郷土

☎49-3474

「火打石のしだれ桜」 日本樹木遺産第5号に認定 公開診断イベントを開催

一般社団法人日本樹木遺産協会は、「火打石のしだれ桜」を日本樹木遺産第5号に新たに認定しました。

これを記念し、樹木医によるイベントを開催します。当日は認定式と樹木医による診断を行い、樹木の保全の重要性を学びながら、樹木の内部を確認できる機材を用いた診断体験も行います。

日時 4月6日（日）

午前11時～

場所 大字赤坂西野字火打石地内

■農林商工課

☎49-3113



人事異動

副村長が着任

4月1日付人事異動により、副村長に板垣良夫氏が着任しました。



板垣 良夫（47）

■異動（令和7年4月1日付）※（ ）内は旧役職

【課長相当職】▼鈴木庄悟住民福祉課長（総務課課長補佐（併）議事事務局書記）【課長補佐相当職】▼緑川正和総務課課長補佐（併）議事事務局書記（併）選挙管理委員会書記（総務課総務係長（併）選挙管理委員会係長）▼渡邊和子診療所副主幹兼事務長（診療所事務長）▼矢吹智広農林商工課課長補佐（兼）商工観光係長（併）農業委員会事務局局長（農林商工課課長補佐（併）農業委員会事務局局長）【係長相当職】▼坂本雄希総務課総務係長（併）選挙管理委員会書記（住民福祉課主査）▼西野瑞宣総務課財政係長（併）監査委員書記（総務課財政係長）▼矢吹清勝住民福祉課住民係長（教育課生涯学習係長）▼水野克哉村づくり推進室村づくり推進係長（村づくり推進室情報広報係長）▼須藤尚紀村づくり推進室情報広報係長（住民福祉課住民係長）【主査相当職】▼坂本元住民福祉課主査（住民福祉課主任主事）▼宇佐見純平総務課主査（総務課主査（兼）出納室主査）【主任主事相当職】▼小松由希総務課主任主事（総務課主事）▼芳賀峻総務課主任主事（選挙管理委員会書記（併）総務課主任主事（併）議事事務局書記）▼関根成人農林商工課主任主事（農林商工課主事）【主事相当職】▼中川西伯仁総務課主事（併）出納室主事（住民福祉課主事）

【課長相当職】▼齋藤利己給食センター主幹兼所長（住民福祉課長）▼小針富子こどもセンター主幹兼園長【課長補佐相当職】▼水野亮達教育課義務教育学校準備室室長（農林商工課商工観光係長）▼青戸秀樹こどもセンター副主幹兼事務長（学校給食センター所長）【係長相当職】▼中川西ミユキ教育課生涯学習係長（教育課主査）【主査相当職】▼平田太良教育課義務教育学校準備室専門技師（農林商工課専門技師）【主任主事相当職】▼黒田美保こどもセンター主任保育教諭（こどもセンター保育教諭）【主事相当職】▼松坂孝太教育課主事（総務課主事）

■新採用（令和7年4月1日付）▼緑川敦子住民福祉課主事▼中川西香央里住民福祉課主事▼多田健人農林商工課主事▼松本大規地域整備課主事▼大竹康史選挙管理委員会書記（併）総務課総務係主事（併）議事事務局書記

■派遣（令和7年4月1日～令和8年3月31日）▼星徹総務課付主幹 鮫川村商工会派遣▼舟木正博総務課付主幹 社会福祉法人鮫川村社会福祉協議会派遣

■退任（令和7年3月31日付）▼鈴木大介副村長（福島県へ復帰）▼退職（令和7年3月31日付）▼長久保仁（こどもセンター副主幹兼事務長）▼矢吹直美村づくり推進室村づくり推進係長

オーガニックビレッジ宣言への道 vol.1

鮫川村有機農業推進講演会を開催

問 農林商工課農林畜産係 ☎49-3113



村は、先人の努力と農業の営みによって守られてきた美しい里山景観を後世につなぐため、「まめで達者な村づくり」と「バイオマスヴィレッジ構想」をさらに発展・加速させる取り組みとして、令和7年度に「オーガニックビレッジ宣言」を行う予定です。

オーガニックビレッジとは？

有機農業の生産から消費までを一貫して行い、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取り組みのことです。

国ではみどりの食料システム戦略に基づき、耕地面積に占める有機農業の割合を2050年までに25%、100万㌦を目指すことを示しており、有機農業を推進しています。

なぜオーガニックビレッジを目指すの？

村は、「まめで達者な村づくり」を掲げ、安全・安心・おいしい農作物のために土づくりから取り組んできました。20年に渡り作り上げた村独自のエコシステムは、環境大臣賞を受賞するなど村外からも大きな注目を集めています。地域内の資源を活かし、循環型農業を進めてきた取り組みは、国がSDGsを推進する以前より村に根付いています。

▶東京農業大学 入江満美准教授が基調講演



熱心に講演に耳を傾ける住民

令和7年2月28日（金）村公民館で有機農業推進講演会を開催し、村民およそ50人が参加しました。講演会に先立ち、農林商工課農林畜産係石井係長が、村で予定している「オーガニックビレッジ宣言」及び今後の学校給食への取り組みなどを説明しました。続けて東京農業大学国際食料情報学部国際農業開発学科・入江満美准教授が有機農業をテーマに基調講演を行いました。基調講演では、土づくりをテーマに土壌の微生物の働きや有機農業の効果などが紹介され、改めて村が進める有機農業の可能性について学びました。

interview

バイオマスヴィレッジ構想の立ち上げから村に関わっていますが、村でオーガニックビレッジ宣言を行う話を聞いた時は、ついにこの段階まで来たのかと思いました。オーガニックビレッジを進めることは、鮫川村の将来を担う次の世代に、今よりもよい環境を残してあげることになります。

地域でサイクルを回すという本来ある姿を学ぶことは、ここで育つ子どもたちへの教育にもとてもよいことだと思います。



入江満美 准教授

会社を退職したときは 年金の切替え手続きが必要です

20歳以上60歳未満の人が会社を退職されたときは、国民年金への加入手続きが必要です。会社を退職された人に扶養されていた配偶者も、国民年金への加入手続きが必要になります。

必要書類

▼基礎年金番号が分かる書類
（基礎年金番号通知書、年金手帳など）

▼退職日を確認できる書類
（健康保険・厚生年金資格喪失証明書など）

申込み先

住民福祉課住民係
令和7年度国民年金保険料

月額17,510円

※保険料の納付が経済的に難しい場合、申請手続きを行うことで、保険料の納付が免除になる場合があります。詳しくはご相談ください。

その他

会社を退職した人で、厚生



切替え手続きはマイナポータルから電子申請もできるよ。詳しくは日本年金機構のホームページをみてね。



年金保険の加入者である配偶者の扶養に入る場合、配偶者の勤務先での手続きが必要です。

問 住民福祉課住民係

☎49-3112

問 年金ダイヤル

☎0570-051165

問 白河年金事務所国民年金課

☎0248-2714161

必ず受けましょう

狂犬予防注射は飼い主の義務です

狂犬病予防注射は毎年受けさせる必要があります。

村は、令和7年度畜犬登録および狂犬病予防注射を行います。狂犬病予防注射の集合注射は年1回の実施となりますので、忘れずに受けさせましょう。

実施日

4月23日（水）

24日（木）

25日（金）

※実施場所・時間の詳細は文書でお知らせします。

対象

令和7年4月23日時点で生後

91日以上の犬

その他

▼犬をすでに登録している人や、昨年注射を受けている犬の場合、「犬鑑札」と「注射済票」を犬に付けてきてください。

問 地域整備課環境係

☎49-3114

■手数料

畜犬登録をしていない … 合計 6,250円		
登録手数料	注射技術料	交付手数料
3,000円	2,700円	550円
畜犬登録をしている … 合計 3,250円		
登録手数料	注射技術料	交付手数料
0円	2,700円	550円





【中学校】1 最高の先生と最高の笑顔で / 2 堂々と卒業証書を受け取る / 3 最高の仲間と / 4 後輩と笑顔の別れ / 5 思わずあふれた涙
 【こどもセンター】6 遊んでくれてありがとう / 7 お母さんとハイタッチ / 8 立派に成長した姿
 【小学校】9 大好きな仲間と / 10 こらえきれなかった涙 / 11 次のステージへ / 12 両親へ感謝 / 13 後輩へバトンをつなぐ



3月13日（木）に鯨川中学校（角田敏文校長）で卒業式、3月19日（水）にさめがわこどもセンター（小針富子園長）で卒園式、3月21日（金）に鯨川小学校（吉田智校長）で卒業式が行われました。

鯨川中学校26名、鯨川小学校19名、さめがわこどもセンター13名が学び舎を後にし、次のステージへ羽ばたきました。

未来に向かって、力強く羽ばたいた皆さん。夢を追い求め、自分自身の可能性を最大限に引き出す、素晴らしい旅が始まります。



Photo report

涙の別れ 笑顔の旅立ち





幅広い年代が参加したボランティア

さざり荘周辺を観光スポットへ

もみじ200本の植樹ボランティア

3月22日(土)に村民保養施設さざり荘の裏山で、湯座建設株式会社から寄贈されたもみじ200本の植樹が行われました。村内外からおおよそ70人がボランティアで参加し、東京農業大学入江教授の指導の下、春を感じる陽気の中で植樹作業に汗を流しました。宗田村長は「さざり荘の温泉と紅葉のコラボで観光スポットにしたい。村民一人一人の思いが村づくりにつながる」と参加者に感謝を述べました。

創部10周年を記念

村スポーツ少年団バスケットボール部創部10周年記念大会

村スポーツ少年団バスケットボール部は令和6年度で創部10年を迎え、これを記念し3月22日(土)に古殿町民体育館やぶさめアリーナで記念大会が開催され、近隣市町村から8チームが参加し頂点を競いました。今大会では引退する6年生が主体となりチーム編成や戦術などを決め試合に臨み、白熱したプレーが続きました。▶優勝＝白河城西▶準優勝＝白河MBB▶第3位＝古殿▶第4位＝鮫川



白熱したプレーを見せた子どもたち



意見を交わす委員

村づくりを考える

第4回まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議

第4回総合戦略有識者会議は3月24日(月)、役場正庁で行われ委員10人が参加しました。会議では令和6年9月に策定した「第3期デジタル田園都市構想総合戦略」の評価・検証・見直しシートに対し、オーガニックビレッジ宣言やスポーツDXなどについてさまざまな意見が挙がりました。村は会議の意見をもとに今後の村づくりを進めていきます。

経産牛(母牛)の活用を促進

リファインホールディングス(株)と連携協定を締結

村は、リファインホールディングス株式会社(東京都・川瀬泰人代表取締役社長)と連携協定を結び、これまで活用されていなかった未利用資源である経産牛(母牛)を、エサの開発などにより食肉としての価値を高めることを目指します。連携協定締結式は3月25日(火)に役場正庁で行われ、協定にあたり川瀬社長は「経産牛の活用などサステナブルな村づくりにさまざまな形で協力したい」とあいさつしました。



協定書を取り交わした宗田村長(左)と川瀬社長(右)



表彰状を受け取った前田委員長(中央)

明るい選挙の推進に寄与

第50回衆議院選挙での功績を称えて

第50回衆議院議員総選挙県選挙管理委員会委員長表彰伝達式が、2月26日(水)に役場村長室で行われました。村選挙管理委員会では、電光掲示板などでの選挙の周知・啓発活動により、県内8位となる投票率、若年層の投票率が県平均を上回るなど、明るい選挙の推進に大きく寄与しました。前田委員長は「有権者の投票への意識の高まりがあつての受賞」とあいさつしました。

元気に体を動かそう

健康運動サポーターが運動支援

健康運動サポーターは毎月2回、鮫川たんぼぼの家を訪問し、入所者の皆さんの運動をサポートしています。3月5日(水)に行われた活動ではサポーター5人が訪問し、ペットボトルを使った全身運動やストレッチで1時間体を動かしました。運動のあとは、参加者全員で歌を歌い交流を図りました。入所者は歌の時間を特に楽しみにしているそうで、時おり手拍子をしながら楽しい時間を過ごしていました。



サポーター(手前)の指導で肩の運動を行う入所者



活躍が期待される鈴木さん(中央)

全国大会での活躍を期待

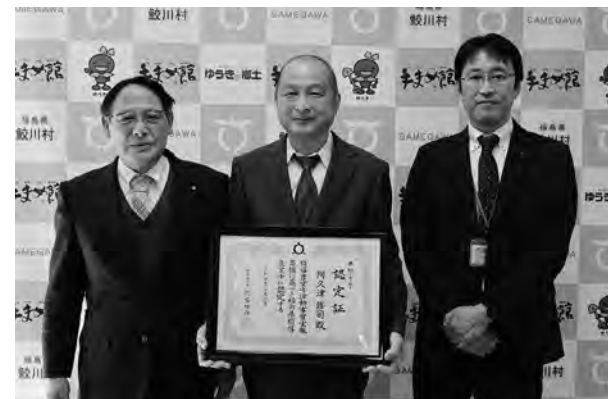
全日本少年春季軟式野球大会に出場

3月13日(木)に役場村長室で、第16回全日本少年春季軟式野球大会に出場する、石川義塾中学1年の鈴木陽希さん(馬場)に激励金が手渡されました。サードを守る鈴木さんは「日頃の練習の成果を十分に発揮し、良い報告ができるよう頑張ってきます」と力強く抱負を語りました。全国大会は3月21日(金)から6日間、岡山県倉敷市で開催され、初戦は長野県の佐久長聖中学校と対戦し0-1で惜敗しました。

農業の後継者育成を推進

福島県指導農業士に阿久津さんが認定

農業を営む阿久津修司さん(滑石)が福島県指導農業士に認定され、3月18日(火)に役場村長室で認定証交付式が行われました。県南農林事務所長谷川農業振興部長から認定証を受け取った阿久津さんは「次の世代に道筋を示せるよう、周囲の協力も得ながら、村で就農できる環境を整えたい」と抱負を話しました。今後阿久津さんは、新規就農者や青年農業士への指導を行っていきます。



認定証を受け取った阿久津さん(中央)

Book 図書の街

図書館からおすめの本をご紹介
鯉川村図書館 ☎ 29-1150

ごはんが楽しみ

著：井田千秋(文藝春秋)



食べることが大好きな著者のいつもの生活から、食にまつわることを楽しく詰め込んだ1冊。優しく鮮やかに描かれているイラストは心が温まります。日常を一つ一つ丁寧に生きることが、心と体を癒してくれるのだと感じられる作品です。

植物と暮らす12ヵ月の楽しみ方

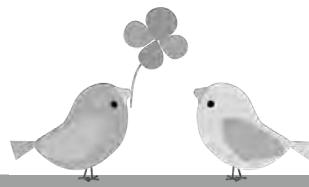
著：ガーデンストーリー (KADOKAWA)



植物を育て始めると、毎日が楽しみにになります。花の美しさや香りに癒されて充実した時間を与えてくれます。本書には、植物の育て方と植物を暮らしの中で楽しむ32のアイデアが紹介されています。毎月一つずつでもチャレンジすれば、巡る季節が宝物のように思える1冊です。



第3土曜日は
家族一緒に読書の日
←新着図書はコチラ



3年の任期を終えて—

鈴木大介副村長より

村に来てからたくさんの出会いがあり、村内外で配付した名刺は3,000枚を超えました。村長を始め村民の皆様に良くしていただきましたこと、心より感謝申し上げます。

春の桜、夏の水田、秋の紅葉、冬の星空など、瞼を閉じると村の美しい風景が浮かんできます。オオムラサキの飼育、さざり荘、大豆栽培をはじめ、赤坂中野の八幡神社お神輿、富田の朝靄、渡瀬の山王山から見た富士山、西野の豊年踊り、西山区民体育祭、赤坂東野のホタル、青生野の鹿角平ロードレースなどはほんの一部で、たくさん村を歩き、たくさんの方とお話しさせていただいたことが副村長としての業務だけではなく、私の人生を豊かなものにしてくれました。村に来て本当に良かったと感じています。



西山区民体育祭の障害物競走でラッキーカードを引いて「つもらん」とがっかりする副村長

4月からは県庁勤務になります。副村長から関係人口へ変身し、さめレンジャーやふるさと納税など、村の未来のために出来ることを重ねてまいります。皆様から頂いた御恩が大きすぎてお返しする言葉も見つからないのが正直なところです。本当にありがとうございました。

令和7年3月31日

鈴木大介

私は高校生まで鯉川村で育ち、大学進学で東京に4年間住んだ後、昨春に故郷へ戻りました。大学では学業とインターンを両立させながら目まぐるしい日々を送り、帰省するたびに村の素晴らしい日々を痛感していました。特に心身が疲弊している時、自分が帰れる場所があるという安心感と、温かく迎えてくれる家族や友人の存在が心の支えでした。

村に戻り、以前から考えていた村全体のITリテラシー向上とIT教育機会の創出に取り組み始めました。子どもの頃から「パソコンはこれからの時代必要だ」と耳にしましたが、教える人材が不足し、学校でもパソコンに触れる機会は限られています。独学でITの知識を身につけることの難しさを実感していた私は、パソコン教室を開設しました。

対象は小中学生から社会人、高齢者まで幅広く設定しています。大人には実務

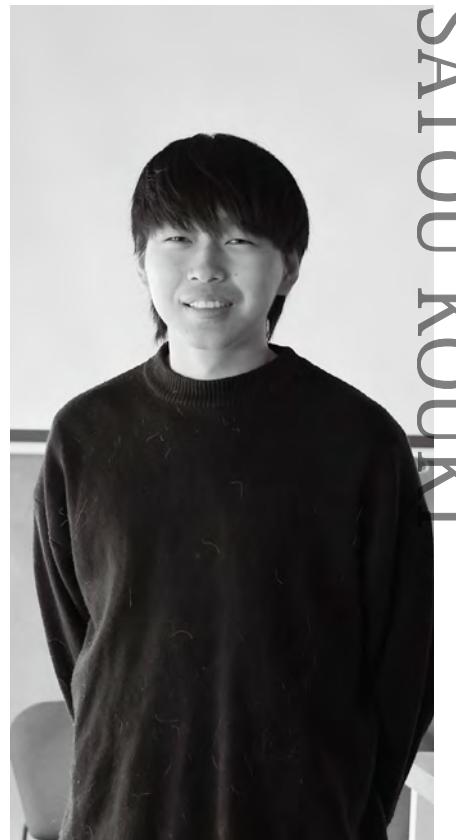
村民【随想】リレー — 320

佐藤 広基さん 村の未来を明るく豊かに

で活用できる知識から操作の基礎を学んでいただき、日々の仕事を楽にするだけでなく子どもたちの未来の選択肢を広げる手助けをしてほしいと考えています。

一方、子どもたちにはインターネットを通じて世界観を広げてほしいという願いがあります。村で育ち、都会で学んだ私が再び村に戻ってきたように、知識や経験も循環していくものだと思っています。このパソコン教室が種となり、村の中に新たな可能性の芽が育ち、いつか大きな木となって実を結ぶ日が来ることを願いながら、一步一步前進していきたいと思っています。鯉川村の未来を、村の皆さんと一緒に明るく豊かに創っていくことを楽しみにしています。

次号は、舟木悠悟さん(石ノ花)にバトンタッチ！



さとう・こうき ● 2001年10月生まれ。大字渡瀬字田尻在住。23歳。趣味は釣りと料理。最近作って美味しかった料理はカレー。



2月から始まった▶パソコン教室

俳句

受験生マフラーきつく雪の道

中井 恒峯

春光の窓辺ゲーテの立ち机

渡辺 家造

宿場町一本葱で吸る蕎麦

山本 恵子

三陸に魔物が棲むか春隣

服部 啓一

凍み餅の浸されし鍋春の宵

鍋木 重正

外は雪一つのパズル二人して

鈴木 米子

手づくりのコンニャクの見栄うらけ

斎須 信子

し

短歌

ちよっぴりと東風がぬくみと匂つれ

赤坂 和子

花壇の花芽すすと首だす

まさに年転んで膝を痛めたりまたつまずいてはレントゲン撮る

藤田智枝子

強滝の春をいだいて流れ落つ響音に浴ふものの芽小径

服部 啓一

青空の牽のごときいぬふぐり休耕田を青く染めゆく

須藤 幸子

投稿句

新年度願いは一つ健康だ

宗田 稔

広報さめがわではみなさんの俳句・川柳・短歌などの作品を募集しています。掲載の相談は村づくり推進室広報担当まで。

村づくり推進室 ☎ 57-6332

鮫川村役場

(代表・総務課) ☎ 0247-49-3111

FAX 0247-49-2651



災害時対応電話

☎ 49-3302・☎ 49-3303

■開庁時間 平日 8時30分～17時15分

住民票や所得証明書などをお求め、業務時間内の来庁が難しい人は、事前に電話をいただければ時間外でも対応が可能です。土日祝日の交付はできませんのでご了承ください。

■ふるさと納税・寄付 [2月受理分]
※村社会福祉協議会への寄付は除く

・ふるさと納税 … 151件



ふるさと納税サイト

■今月の納税

軽自動車税 … 【納期限: 4月30日】



**マイナンバーカードが
運転免許証として利用できます**

改正道路交通法の施行により、マイナンバーカードと運転免許証の一体化の制度が令和7年3月24日から開始されました。

一体化により免許情報がマイナンバーカードに記録されるので、住所変更などの面倒な手続きがスムーズになります。

利用手続き

▶運転免許センターなどで事前に手続きが必要です

▶住所変更ワンストップサービスなどの利用申請やマイナポータル連携手続きのためには、マイナンバーカードの署名電子証明の提出が必要です。6～16桁の署名用電子証明書暗証番号をあらかじめご用意ください。



デジタル庁

問 福島県警察運転免許センター
☎ 024-591-4372



**農地の貸し借り(売買)の
方法が変わります**

4月から、農地の貸し借り(売買)をする際、地域計画が策定された地域においては原則として農地バンク経由となります。

詳しい内容は、農林商工課または農業委員会にお問合せください。

問 農林商工課農林畜産係・農業委員会
☎ 49-3113



**福島県防災アプリで防災行政無線の
放送内容が確認できます**

4月1日から防災アプリで防災行政無線の放送内容が確認できるようになりました。これは、戸別受信機の故障などにより防災行政無線を聞くことができない場合に備え、代替手段として連携したものです。

このため、4月以降定時放送について、屋外や戸別受信機においても自動音声により放送しますのでご理解をお願いします。

問 総務課総務係 ☎ 49-3111



**山菜・野生きのこの
摂取・出荷制限について**

現在、村内で採取された山菜と野生きのこの出荷および摂取が制限されています。

加工用の原材料として出荷することもできませんのでご注意ください。食品の出荷制限については県のホームページでご確認ください。

☐ 山 菜 … わらび・こしあぶら
☐ 野生きのこ

また、自家消費食品などの放射能検査を希望する人は、受付場所に直接持込ください。

受付場所 農産物加工・直売所「手まめ館」

受付時間 午前9時～正午

【山菜類の出荷制限に関すること】

問 県南農林事務所林業課 ☎ 33-2123

問 農林商工課農林畜産係 ☎ 49-3113

【放射能検査に関すること】

問 農産物加工・直売所「手まめ館」

☎ 49-2556

生きることは食べること



生きていくうえで、食事から栄養を適切な量摂ることは大切なことです。今年度は、栄養素の働きや何をどのくらい食べたら良いのかなどを食品別にお伝えしていきます。

今月のテーマ — 塩のはたらき

《食塩摂取量男女共全国ワースト2位》

皆さんは塩をどのくらい摂取していますか？

福島県の食塩摂取量は、男性 11.9g、女性 9.9g と男女共全国ワースト2位(平成28年国民健康・栄養調査)という結果です。食塩摂取目標量は、男性 7.0g、女性 6.5g、高血圧の方 6.0g であり、目標量を上回る量を摂取していることが分かります。昨年度、住民健診で実施した尿中塩分濃度測定でも普段どのくらい摂取しているのか確認していただきました。

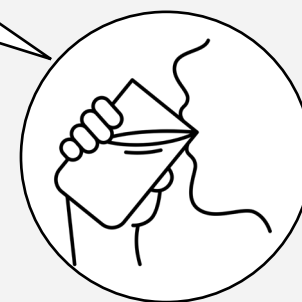
《塩分の過剰摂取で高血圧に》

ではなぜ、塩を摂取しすぎると体に悪いのでしょうか。実は、塩の仕事は一日3gでできるような仕組みになっています。塩を過剰に摂取することで体内ではこんな困ったことが起きています。

塩も大切な栄養素ですが多く摂りすぎると...

人は常に体の塩分濃度を0.9%に保っています。塩分を多く摂りすぎると体内の塩分濃度が上がり、0.9%を維持するために体が水を欲します。水を飲むことで血液量が増えます。

- ▶血液量が増えることで血管に圧がかかり、血管の壁に傷がつき、血管の修理を繰り返すことで動脈硬化につながる
- ▶修復を繰り返し、狭くなった血管に血液を流すため、心臓に負担がかかる
- ▶腎臓の細胞に多くの血液が集まり、負担がかかる



塩分を多く摂ると、血液量が増え、高血圧になりやすく、さらに長期化すると心臓や腎臓に負担をかけ、働きが悪くなります。

また、子どもの腎臓は発達途中のため、塩の排泄力に限りがあります。濃い味に慣れてしていると、知らないうちに塩分を多く摂り、臓器に負担をかけている可能性があります。減塩を心掛けた食生活をしましょう。

問 住民福祉課健康係 ☎ 49-3112



暮らしのカレンダー

4/1	火	交通事故ゼロ・歩行者優先の日	
2	水	手まめ館定休日	
3	木		
4	金	ふれあい温泉サロン	
5	土	立夏	
6	日	第1日曜日は環境美化の日 ⑤ 瑞厚生病院 ☎43-1145	
7	月	保育はじめ/入学式(小・中学校) 第1学期始業式(小・中学校)	
8	火	入園式(こどもセンター) 第1学期始業式(幼稚園)	  
9	水		
10	木		 中野
11	金		 渡瀬
12	土		
13	日	⑤ 木村医院 ☎46-3528	
14	月	3か月児健康診査/お母さんの口腔健康相談	
15	火	シルバー交通安全の日	 東石
16	水	手まめ館定休日	
17	木	7か月・10か月児健康診査 お母さんの口腔健康相談	
18	金	心配ごと相談	 西野
19	土		
20	日	⑤ あらまちクリニック ☎33-8018	
21	月		
22	火		  富田
23	水	やまぶきの会	
24	木	悠遊クラブ	 青生野
25	金	献血	
26	土		
27	日	⑤ つちやクリニック ☎43-2250	
28	月		
29	火	昭和の日	⑤ 東館診療所 ☎46-2312
30	水		
5/1	木		
2	金		
3	土		

戸籍の窓 ※2月届け出分・敬称略

お誕生 住 所 氏 名 性 月 日 保護者

おくやみ 住 所 氏 名 月 日 年 齢

人の動き	人口	2,815 人	(-3)
	男	1,460 人	(-3)
	女	1,355 人	(±0)
	世帯	1,039 戸	(±0)

3/1 現在
() は前月比

診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで

曜日	月	火	水	木	金
地区	赤坂中野 赤坂東野・石井草	赤坂西野 西山	全村	青生野	富田 渡瀬

NOTE



毎月8日は歯の日です

防災無線で虫歯予防を呼びかけます

しっかり噛んで
食べましょう!4月の担当は
鮫川給食センター
栄養技師(県)
菊池夏美さん

やまゆり乳児室・保育室



ママカフェ



筋力づくり教室



あおぞら号昼バス運行日



健鮫運動教室 /会場▶公民館

4月16日(水) 14時～15時 …ピラティス、リフレッシュストレッチ
 4月22日(火) // …お尻シェイプ、リフレッシュヨガ
 4月30日(水) // …ピラティス、リフレッシュストレッチ



教育委員会便り 第1回

令和7年度がスタートいたしました。今年度も村教育委員会から村民の皆さんへ学校教育の今や生涯学習の情報等をこの場を使って紹介させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
 問 教育委員会 ☎49-3151

TOPICS/ メディアコントロールを家族みんなで

令和5年11月にポスターを全戸配付し、スマートフォン、携帯電話、タブレット等の使いすぎを自分で抑制する、いわゆる「メディアコントロール」を呼びかけましたが、その後皆さんのご家庭ではどうでしょうか。

ここで改めて、メディアの使いすぎによる健康被害を知ることや家庭でのルールづくりについて考える機会としたいと思います。



使い過ぎるとこんなことに...

- ① 寝不足による集中力の低下で学力が下がる
- ② 片目が内側によったままになり、物が二重に見える急性内斜視になる
- ③ 頭が前に出て首がまっすぐになるストレートネックが原因で、頭痛やめまい、疲れやすくなるなどの症状がでる



家庭でのルールづくりと見直しを!

- ☒ 実行可能なルールを親子の話し合いで作りましょう
- ☒ 見直すべきことがあればルールを再検討しましょう

県南地方で初制定

鮫川村野生生物保護条例を制定

阿武隈高原の南部の頂上部に位置し、およそ30本の支流を持つ上質な水源が魅力の鮫川村。上質な水源にはきれいな環境にしか住めない希少な生物がたくさん生息しています。

昨年、村内10か所で調査を行った結果、合計22種類の魚類の生息が確認し、うち10種類が環境省や福島県が「絶滅が危惧される種」としている魚類であることが分かりました。

これを踏まえ、村は希少な生物を後世に残し続けるため、特に希少性の高い5種(ホトケドジョウ/スナヤツメ/ギバチ/キンブナ/ゲンゴロウ)を保護する条例を制定し、豊かな自然環境を守り続けていきます。

問 村づくり推進室村づくり推進係 ☎57-6332

どこにいるかは内緒だぜ。
悪い奴らにつかまるからな。

ゲンゴロウ



ホトケドジョウ



ギバチ



スナヤツメ類



キンブナ